

# 博多港

## の地域的 参考情報

### 1 博多港の気象・海象の特性

- ・北寄りの風の強いときは船舶の喫水に応じて志賀島や西戸崎の南西方に、西寄りの風の強いときは能古島の東側に錨泊するほうが良いです。
- ・長浜船だまりは、どの方向の風に対しても比較的安全です。検疫錨地は、能古島の東部に指定されています。

### 2 台風に関する勧告基準

区分	船舶等が執るべき措置
注意喚起	台風の予想進路等、気象情報を収集する。
港則法に基づく勧告	<b>（第一態勢） 避難準備勧告</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 在港船舶は、必要に応じて直ちに運航できるよう荒天準備を完了する。</li> <li>2. ヨット、モーターボートその他の小型船舶は、船だまり、その他安全な場所に避難を完了する。</li> <li>3. 岸壁、棧橋、工事作業現場においては、風浪により流出のおそれがある物件の固縛、陸揚げ、移動その他の荒天準備を完了し、厳重な警戒態勢とする。</li> <li>4. 危険物の荷役作業は、中止基準等を考慮し、早めに中止して厳重な警戒態勢とする。</li> <li>5. 国際VHF装備船は、国際VHF（CH16）を常時聴守し、海上保安庁との連絡手段を確保する。</li> </ol>
	<b>（第二態勢） 避難勧告</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第一態勢の執るべき措置に加え、次の措置をとること。</li> <li>2. 着岸中の総トン数2,000t以上の船舶は、安全な海域に避難する。</li> <li>3. 総トン数2,000t以上の船舶は、着岸を見合わせる。</li> <li>4. 避難の順序は、原則として次のとおりとし、各岸壁とも離岸しやすい沖側の船舶から優先して避難する。           <ul style="list-style-type: none"> <li>①荒津地区②須崎ふ頭③中央ふ頭④東浜ふ頭⑤箱崎ふ頭⑥香椎パークポート⑦アイランドシテ</li> </ul>           ※避難船舶の再着岸の順序は、原則として避難の逆順序とし、バースの奥部を優先する。         </li> <li>5. 当直員（船橋当直・無線当直等）を配置する。</li> <li>6. AIS搭載船舶は、AIS常時作動を確認する。</li> </ol>

### 3 付近海域の特徴

博多港西防波堤南部の開口部から荒津大橋に至る海域は博多港長浜・福岡各船だまりに出入りする船舶の航路筋を確保するため、錨泊が禁止されています。

**緊急連絡先** 博多港長  
福岡海上保安部 TEL：092-281-5867

各海域（港）最寄りの海上保安庁の事務所や地方運輸局で配布している走錨事故防止ガイドラインとともに、船橋に備え置いてください。